



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月9日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 東
コード番号 4960 URL <https://www.chemipro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 兼俊 寿志
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 徳地 昭博 TEL 078 (393) 2524
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,629	46.6	69	174.3	1	—	2	—
2024年3月期第1四半期	1,794	△34.3	25	△88.0	△19	—	△21	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	0.18	—
2024年3月期第1四半期	△1.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	13,861	4,635	33.4	290.29
2024年3月期	13,713	4,679	34.1	293.03

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 4,635百万円 2024年3月期 4,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	6.1	480	△0.5	200	50.5	140	11.0	8.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	16,623,613株	2024年3月期	16,623,613株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	653,969株	2024年3月期	653,969株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	15,969,644株	2024年3月期1Q	16,135,944株

- (注) 1. 期末自己株式には、信託が保有する当社株式（当第1四半期累計期間653,900株）を加算しております。
2. 期中平均株式数（四半期累計）は、自己名義所有株式分を控除する他、信託が保有する自己株式（当第1四半期累計期間653,900株）を控除して算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における経済情勢は、欧州や中国の低調な状況は変わらず、底堅さを維持していた米国でも緩やかな減速感が出始めました。加えて、地政学的リスクの長期化もあり、全体として引き続き不安定な状況で推移しました。

このような経済環境の中で、当社の属するファインケミカル業界につきましては、需要は昨年度後半と同水準の状況が続きましたが、円安進行に伴う原材料価格の一層の高騰のほか、エネルギー価格も上昇が続いたこと等もあり、厳しい状況で推移しました。一方、当社においては、昨年度前半に大きく落ち込んだ売上の反転や一部製品について需要回復の動きもあり売上は増加しましたが、利益面では引き続き厳しい環境下にあります。

具体的な当第1四半期累計期間における当社の売上高は、化学品事業では、昨年度、グローバルマーケットにおける在庫調整により低調な水準であった主力製品である紫外線吸収剤が大幅に増収となったほか、その他製品分野でも需要回復、価格改定、販売強化等もあり、多くの製品分野で増収となりました。ホーム産業事業では、消費マインド低迷による木材保存薬剤の需要低迷や、工事関係の受注の減少等により販売が振るわず減収となりました。これらにより、売上高全体では、前年同四半期比835百万円増の2,629百万円（前年同四半期比46.6%増）で着地いたしました。利益面では、紫外線吸収剤の増収のほか、一部製品について価格改定による収益改善があったこと等により、営業利益は69百万円（同174.3%増）、経常利益は営業外費用として生産休止費用を51百万円計上し1百万円（前年同四半期は経常損失19百万円）となりました。税引前四半期純利益については、特別損益の計上がなかったことから経常利益と同額の1百万円（前年同四半期は税引前四半期純損失19百万円）となりました。四半期純利益については、法人税、住民税及び事業税が8百万円、法人税等調整額が△9百万円となり2百万円（前年同四半期は四半期純損失21百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(化学品事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、主力製品である紫外線吸収剤が前年同四半期比599百万円増の1,455百万円（前年同四半期比70.0%増）となった他、酸化防止剤が同135百万円増の280百万円（同93.2%増）、製紙用薬剤が同56百万円増の84百万円（同203.2%増）、受託製造製品が同29百万円増の431百万円（同7.5%増）、写真薬中間体が同23百万円増の73百万円（同45.5%増）となる一方で、電子材料が同1百万円減の13.6百万円（同12.2%減）となり、全体では同839百万円増の2,352百万円（同55.5%増）となりました。

(ホーム産業事業)

当第1四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤の売上高が前年同四半期比2百万円減の209百万円（前年同四半期比1.3%減）、その他が同1百万円減の67百万円（同2.8%減）となったことから、全体では同4百万円減の276百万円（同1.6%減）となりました。

(品目別販売実績)

(単位：千円，%)

セグメント別	期別 区分	前第1四半期累計期間 2024年3月期		当第1四半期累計期間 2025年3月期		増減 金額
		金額	構成比	金額	構成比	
化学品事業	紫外線吸収剤	856,196	47.7	1,455,502	55.4	599,305
	写真薬中間体	50,700	2.8	73,764	2.8	23,064
	製紙用薬剤	27,733	1.5	84,094	3.2	56,360
	酸化防止剤	145,195	8.1	280,586	10.7	135,391
	電子材料	15,498	0.9	13,613	0.5	△1,884
	受託製造製品	401,099	22.4	431,081	16.4	29,982
	その他	16,256	0.9	14,036	0.5	△2,220
(小計)	1,512,679	84.3	2,352,678	89.5	839,998	
ホーム産業事業	木材保存薬剤	212,303	11.8	209,624	8.0	△2,678
	その他	69,119	3.9	67,185	2.6	△1,934
	(小計)	281,423	15.7	276,810	10.5	△4,612
合計		1,794,102	100.0	2,629,488	100.0	835,385

(注) 金額には、消費税等を含んでおりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期末(以下「当四半期末」という。)の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という。)比147百万円増加し、13,861百万円となりました。流動資産は同221百万円増加の8,598百万円、固定資産は同73百万円減少の5,263百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が246百万円、受取手形及び売掛金が121百万円、原材料及び貯蔵品が203百万円増加した一方で、商品及び製品が236百万円、その他の流動資産が70百万円減少したことなどによるものであり、固定資産の減少の主な要因は、建物(純額)が19百万円、有形固定資産のその他(純額)が65百万円減少した一方で、その他の固定資産が7百万円増加したことなどによるものであります。

当四半期末の負債は前期末比191百万円増加し9,225百万円となりました。流動負債は同487百万円増加の6,685百万円、固定負債は同296百万円減少の2,540百万円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金が498百万円、電子記録債務が211百万円増加した一方で、その他の流動負債が178百万円減少したことなどによるものであり、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が206百万円減少したことなどによるものであります。

当四半期末の純資産は前期末比43百万円減少し、4,635百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、四半期純利益を2百万円計上した一方で、配当金の支払49百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が3百万円増加したことなどであります。この結果、自己資本比率は33.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

地政学的リスクの長期化が払拭できない状況のなか、世界経済は、欧州や中国は依然として低調な状況が続き、米国の減速も懸念されます。また、わが国においても、政府主導による雇用・所得環境の向上政策の効果は不透明で、全体として不安定な状況が続くと思われま

す。このような中、当第1四半期累計期間の業績は2024年5月10日発表の通期業績予想に対して、売上面では大きく乖離することなく推移しております。今後も売上高については、概ね現時点の進捗から大きな変動はないものと見込んでおりますが、利益面では、事業年度を通して段階的に価格転嫁が浸透していくことを前提としており、今後改善するものと考えておりますが一層のコスト高が懸念されることも含めて利益計画達成については、予断を許さない状況が続くと考えております。

これらを踏まえ、現段階では通期業績予想の修正はいたしません。引き続き慎重に業績の進捗を判断し、適時に見直して参る計画であります。業績予想の修正を決定した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,882,862	2,129,530
受取手形及び売掛金	2,292,313	2,413,912
電子記録債権	94,723	61,550
商品及び製品	2,973,597	2,737,210
仕掛品	99,995	90,194
原材料及び貯蔵品	442,198	645,739
その他	595,690	524,754
貸倒引当金	△4,689	△4,681
流動資産合計	8,376,693	8,598,210
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	941,635	921,796
土地	2,861,042	2,861,042
その他（純額）	1,130,610	1,065,316
有形固定資産合計	4,933,288	4,848,155
無形固定資産	9,308	9,187
投資その他の資産		
投資有価証券	253,990	258,134
その他	155,145	162,326
貸倒引当金	△14,544	△14,454
投資その他の資産合計	394,591	406,006
固定資産合計	5,337,188	5,263,349
資産合計	13,713,882	13,861,559

（単位：千円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,731	1,243,232
電子記録債務	404,960	616,294
短期借入金	2,850,000	2,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,030,000	971,875
未払法人税等	46,348	12,503
賞与引当金	96,456	144,881
その他	1,025,041	846,367
流動負債合計	6,197,538	6,685,152
固定負債		
長期借入金	1,827,500	1,620,625
退職給付引当金	576,212	560,634
役員株式給付引当金	45,523	39,600
その他	387,506	319,720
固定負債合計	2,836,742	2,540,580
負債合計	9,034,281	9,225,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,060,713	1,060,713
利益剰余金	1,517,732	1,470,714
自己株式	△205,013	△205,013
株主資本合計	4,528,784	4,481,766
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	150,816	154,060
評価・換算差額等合計	150,816	154,060
純資産合計	4,679,600	4,635,826
負債純資産合計	13,713,882	13,861,559

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,794,102	2,629,488
売上原価	1,515,837	2,287,601
売上総利益	278,265	341,886
販売費及び一般管理費	253,051	272,737
営業利益	25,214	69,149
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2,743	3,762
受取賃貸料	1,800	1,800
その他	2,038	1,817
営業外収益合計	6,581	7,381
営業外費用		
支払利息	16,924	17,645
生産休止費用	31,391	51,359
賃貸収入原価	114	114
その他	2,939	6,343
営業外費用合計	51,370	75,463
経常利益又は経常損失(△)	△19,574	1,068
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△19,574	1,068
法人税、住民税及び事業税	11,937	8,000
法人税等調整額	△10,491	△9,785
法人税等合計	1,446	△1,784
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△21,021	2,852

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合 計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	856,196	—	856,196
写真薬中間体	50,700	—	50,700
製紙用薬剤	27,733	—	27,733
酸化防止剤	145,195	—	145,195
電子材料	15,498	—	15,498
受託製造製品	401,099	—	401,099
木材保存薬剤	—	212,303	212,303
その他	16,256	69,119	85,376
顧客との契約から生じる収益	1,512,679	281,423	1,794,102
外部顧客への売上高	1,512,679	281,423	1,794,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,512,679	281,423	1,794,102
セグメント利益	117,308	14,715	132,024

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	132,024
全社費用（注）	△106,810
四半期損益計算書の営業利益	25,214

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
(単位：千円)

	報告セグメント		合 計
	化学品事業	ホーム産業事業	
売上高			
紫外線吸収剤	1,455,502	—	1,455,502
写真薬中間体	73,764	—	73,764
製紙用薬剤	84,094	—	84,094
酸化防止剤	280,586	—	280,586
電子材料	13,613	—	13,613
受託製造製品	431,081	—	431,081
木材保存薬剤	—	209,624	209,624
その他	14,036	67,185	81,221
顧客との契約から生じる収益	2,352,678	276,810	2,629,488
外部顧客への売上高	2,352,678	276,810	2,629,488
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,352,678	276,810	2,629,488
セグメント利益	176,110	9,728	185,838

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	185,838
全社費用（注）	△116,689
四半期損益計算書の営業利益	69,149

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
減価償却費	94,256千円	96,868千円